

# 基本構想検討シート

## テーマ：住みやすさを感じるまち ～生活の快適性を支えるまちづくり～

| 10年前の書きぶり（4次長計）   |  |   |
|---|--|---|
| 構想レベルの課題  | 構想レベルの方針   | 方針に基づく基本事業（参考）  |
| ① 都市の基盤づくりでは、すべての人が利便性を感じ、安心して快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインに配慮した生活環境のバリアフリー化を進めるなど、人へのやさしさが求められます。 | ・人にやさしく、利便性と快適性を兼ね備えた都市環境をつくるため、自然環境や周辺環境と調和した市街地整備を進めるとともに、日常生活及び広域的視点に立った、道路交通体系の整備、下水道、公園をはじめとする都市機能の充実を図ります。 | <input type="checkbox"/> 道路の整備<br><br><input type="checkbox"/> 都市的土地利用と良好な住環境形成への誘導<br>・都市計画制度を活用した取り組み<br>・産業集積や良好な市街地の形成<br>・都立六仙公園の計画面積全体の開園に向けた東京都への整備推進要請<br>・安全・安心で魅力ある公園づくり<br>・緑地機能及び多目的保留地機能を兼ね備えた農地を保全<br><br><input type="checkbox"/> 交通環境の充実<br>・路線バスの利便性向上<br>・地域性や道路環境等を考慮した地域公共交通の充実に向けた検討<br>・放置自転車による通行障害などの解消、自転車駐輪場の恒久的な施設の確保<br><br><input type="checkbox"/> 公共下水道の整備 |
| ② 多様な世代が東久留米に将来の生活を描くことができ、愛着を持って住み続けたいと望む魅力ある都市空間を創ることが必要です。                             | ・土地利用に関する方針に基づき、きめ細やかで計画的なまちづくりの推進に努めます。   |   |

10年経った今では

| 5次長計   |   |
|--|---|
| 基礎調査等から抽出した課題などを書き出しています   | 今の課題、方向性に対するキーワードは  |
| <b>【施策の評価・検証より】</b><br>・都市計画道路について都の計画に基づき、優先整備路線の整備を国や都の補助を活用し、計画的・効率的に進めていく必要がある。<br>・利用者が安全に利用するため、適切に補修等の維持管理を実施していく必要がある。<br>・緑地機能を持つ農地の計画的な保全を進めるため、面積要件緩和の条例施行や再指定を可能とする指定基準の改正等、生産緑地制度の見直しを行った。<br>・公園の老朽化した遊具等の施設の維持管理については、計画的に取り組む必要がある。<br>・都市計画道路等の新たな道路整備に伴っての路線の拡充について、引き続き要望や協議を行っていく必要がある。<br>・市営自転車等駐車場は、東久留米市駅周辺に6箇所確保しているが、全てが借地で運営しており、必ずしも安定的とは言えない運営状況である。<br>・公共下水道（雨水）未整備地域の比率は高い状況にある。<br>・都市化の進行に伴う保水等機能の低下もあり、台風や局所的豪雨により道路冠水等は増加傾向にあるため、引き続き公共下水道（雨水）整備を進めていく必要がある。<br>・雨水整備に要する費用は汚水の整備と比較し膨大な費用と整備期間を要するため、計画的かつ効率的に冠水対策を図っていく必要がある。<br><br><b>【基礎調査データより】</b><br>・主要地方道、一般都道、市道は、それぞれ延伸されており、道路の幅員状況は、幅員3.5m未満の狭い道路は減少している。<br>・地目別土地利用は、宅地の面積が全体の約5割。<br>・第1種低層住居・第1種中高層住居専用地域は78.5%。<br>・住宅数は、共同住宅が最も多い。<br>・空き家率は、多摩26市で3番目に低い。<br>・西武池袋線東久留米駅の乗降客数は平成19年度以降、増加傾向。<br>・市の人口100人当たり自動車保有台数は多摩26市中20位。<br>・公共下水道（雨水）整備状況は、全体計画に対する整備率は13.8%となっている。<br>・住民一人当たりの公園等の面積は、26市平均を上回る。<br><br><b>【市民・団体アンケートより】</b><br>・23.2%の市民が市の目指すべきまちの姿として「道路、下水道、公園などの生活基盤施設が整ったまち」と答えた。<br>・32.3%の市民が本施策に満足していない。<br>・80.2%の市民が本施策を重要と考えている。<br>・市民が考える優先すべき取り組みとして、「歩行空間・自転車走行空間の整備」、「生活道路の拡幅整備」、「生活道路の補修」の順で高くなっている。<br>・企業・団体からは重点を置くべき取組として、「安全・安心に通行できる交通インフラの整備」が挙げられた。 | 今の課題、方向性に対するキーワードは<br><br><div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             ご意見を準備していただくためのメモ欄です           </div> ■道路の整備では、<br><br>■都市的土地利用と良好な住環境形成への誘導では、<br><br>■交通環境の充実では、<br><br>■公共下水道の整備では<br><br>■このテーマに欠けている視点は、 |